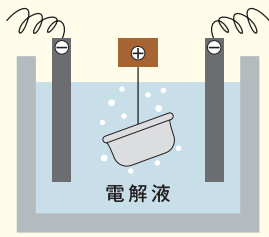
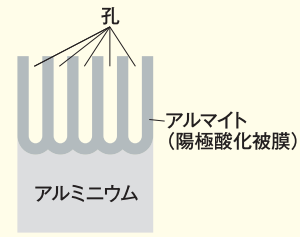


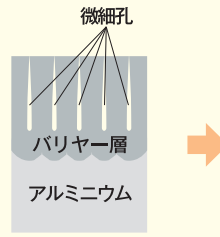
アルマイト(陽極酸化被膜)



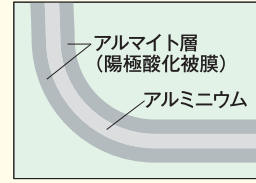
硫酸、酢酸などの電解液の中で⊕側にアルミ製品⊖側に鉛板を設置して、電流を流します。



アルミの表面に酸化被膜が出来ますが、電流の通った微細な孔が無数にあっています。



この孔を塞ぐ為高压高温の水蒸気で膜を膨張させ微細な孔を塞ぎます。アルマイトの封孔処理です。



アルミ表面にアルマイト加工を施す事に依り、製品の内面の変色、又汚れ、耐食性に優れ表面が硬くなり手入れがしやすくなります。

硫酸法と酢酸法の特徴

	硫酸法	酢酸法
長所	酸性に強い 色調はシルバー 耐食性、耐摩耗性良好	酸性、アルカリ性に優れている 色調は黄金色 硫酸法に比較して、耐食性約3倍、耐摩耗性1.5倍強い(当社比)
短所	アルカリ性に弱い	電解条件で発色する為(自然発色)、色むらが出る

①丸型一重食缶(シルバー アルマイト)



②丸型一重食缶(酢酸)



③丸型一重食缶(蓋止式)



容量	サイズ	握り	板厚	目盛	※○印は数字標記、○無は横線のみ	①丸型一重食缶(シルバーアルマイト)	②丸型一重食缶(酢酸)	③丸型一重食缶(蓋止式)
6L	φ260×170mm	握り1ヶ	1.2mm	⑤ 4 ③		211	211-G	211-F
8L	φ285×195mm	握り1ヶ	1.2mm	⑥ 5 ④ 3		212	212-G	212-F
10L	φ270×245mm	握り1ヶ	1.2mm	⑩ 9 ⑧ 7 ⑥ 5 ④ 3		213-A	213-AG	213-AF
10L	φ270×240mm	握り1ヶ	1.2mm	⑧ 7 ⑥ 5 ④ 3 (通常はこちらです)		213-B	213-BG	213-BF
12L	φ295×245mm	握り1ヶ	1.2mm	⑩ 9 ⑧ 7 ⑥ 5 ④ 3		214	214-G	214-F
14L	φ305×270mm	握り3ヶ	1.2mm	⑫ 11 ⑩ 9 ⑧ 7 ⑥ 5 ④ 3		215	215-G	215-F
16L	φ317×320mm	握り3ヶ	1.2mm	⑭ 13 ⑫ 11 ⑩ 9 ⑧ 7 ⑥ 5 ④ 3		216	216-G	216-F
14L	φ305×270mm 厚手	握り3ヶ	1.5mm	⑫ 11 ⑩ 9 ⑧ 7 ⑥ 5 ④ 3		215-1		
16L	φ317×320mm 厚手	握り3ヶ	1.5mm	⑭ 13 ⑫ 11 ⑩ 9 ⑧ 7 ⑥ 5 ④ 3		216-1		

※10Lは(サイズ・目盛標記が違います) 2種類あります。違いをご確認ください。通常は213-Bになります。ご注意ください。



取手が横で止まります。



※①～④
丸型一重食缶は、目盛が容量ではありません。

容量はこのどちらかに刻印されています。



⑤一食用食缶(副食入付)

228 本体外寸 φ143×125mm ¥8,000
中子寸法 φ141×51mm

●材質:シルバーアルマイト

④丸型一重食缶(N型)

213-N 10L φ300×248mm ¥6,200 ニグリ1ヶ付
215-N 14L φ315×280mm ¥7,300 ニグリ3ヶ付

●材質:酢酸アルマイト



⑥ジャム・バター入

225 大 ¥4,200
φ220×140mm
225-D 2L ¥3,500
本体φ182×117mm
蓋φ193×16mm

●材質:シルバーアルマイト



⑦ジャム・バター入

226 小 ¥3,000
φ220×80mm
227 3L ¥3,900
φ215×130mm

●材質:シルバーアルマイト